

視察研修・研修会等報告書

議席番号〔 3 〕議員名〔 大西 尚子 〕

1 年 月 日	令和7年5月19日20日（日数 1泊 2日）
2 場 所	滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研究所
3 視察・研修事項	市町村議会議員研修（2日間コース）自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～
4 面 接 者	① 武庫川女子大学 金崎健太郎氏 ② 京都大学公共政策大学院 小西敦氏
5 視察研修、研修会の成果	① 自治体決算の意義と審査のポイントについての研修に参加しました。参加者は全国から集まった地方議員や関係者151名。8名ずつのグループに分かれて討議と発表も行われ、実践的かつ充実した学びの機会となりました。 自治体決算の意義と役割について まず、地方公共団体と民間企業の会計の違いについての説明がありました。自治体決算は、予算編成から執行、そして決算に至るまでの一連の流れを記録・評価するものであり、住民に対する説明責任を果たす重要な資料です。歳入歳出決算書、収入未済額、不納欠損額、そして実質収支など、決算関係書類の構成と意味について丁寧な解説があり、自治体財政の透明性と信頼性を支える仕組みを理解することができました。 決算を用いた財政診断 次に、財政状況資料集を用いた財政診断の方法について学びました。単年度収支や実質単年度収支、財政力指数、経常収支比率、健全化判断比率、実質赤字比率、凍結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率など、多角的な指標を通じて自治体の財政状況を読み解く視点を得ました。令和5年度の西宮市決算を題材に、グラフを見ながらチェックポイントを確認し、実際のデータに基づいた分析の重要性を実感しました。 グループ討議と質疑応答 グループ討議では、他自治体の議員の方々と意見交換を行い、それぞれの地域の課題や取り組みについて深く考える機会となりました。討議を通じて、決算書の見方や財政指標の活用方法について理解が深まり、実務に活かせる視点を得ることができました。この研修では、決算のチェックポイントを具体的に学ぶことができ、財政資料の読み方に対する理解が格段に深まりました。グループ討議を通じて、他自治体の議員の方々と意見を交わすことで、自分の考えを整理し、視野を広げることができました。今後は、今回の学びを活かし、地域の財政

状況をよりの確に把握し、分かりやすく説明できるよう努めたいと思います。

②自治体決算と行政評価の基本を学び、議員としての活用方法を考えることを目的に、地方自治法や議員の職務の明確化から始まり、行政評価の目的や評価主体、議会の位置づけについて理解を深めました。特に政策評価の重要性や観点、地方創生 2.0 の考え方、新しい地方経済の方向性、生活環境創生交付金、EBPM（証拠に基づく政策立案）、地域幸福度指標など、現代の自治体運営に欠かせない視点を学びました。

議会基本条例と行政評価の関係についても説明があり、グループ討議では、議会が行政評価をどう活用すべきかを演習形式で検討しました。他の議員との意見交換を通じて、評価の視点を持って決算審査に臨むことの意義を実感しました。

今回の講義を通じて、行政評価を議会活動に活かすための具体的な視点と行動の方向性を得ることができました。今後は、地域の実情に即した評価と対話を重ね、住民にとってより良い政策形成に努めたいと思います。最後に、本研修への参加させていただき心より感謝申し上げます。学びを地域の政策形成と議会活動にしっかりと活かしてまいります。